

解決策を実行する障害を乗り越えるには？ 《行政課題解決セミナー》

一社会や組織に長年染みついた既成概念を変えるのは容易ではないのは、多くの方々が実感しておられると思います。

TOCには、様々な状況に応じて、既成概念を覆す全体最適の解決策があるのはご存知の通りですが、いかにいい解決策があっても、その解決策が実行されなければ意味がないのは言うまでもありません。

素晴らしい解決策をあることと、実行することには大きなギャップがあるわけです。

解決策に対する障害を乗り越え、実行に移すためのプロセスがTOCにはあります。(講師メッセージより)

《ワークショップレポート》

今回のワークショップで取り上げた問題は、「新型コロナウイルス問題」。この問題の長期化により、行政の現場では、コロナ対策にリソースが割かれ、本来実施すべき政策が実行できない状況となっており、この問題を早期に解決しなければなりません。8月7日にゴールドラットジャパンのイベント「オンライン問題解決LIVE!ワークショップ」が開催され、「新型コロナウイルスにまつわる様々な問題を引き起こしているたった一つのコアのジレンマを解消する解決策」について議論されました。本日のワークショップでは、この解決策を実行に移すための障害をみんなで議論し、障害を逆手にとって、実行に移す方法を学びました。

ワークショップの冒頭、岸良さんによる「問題解決策の実行への障害」の解説が始まりました。

良い解決策を創ることと、実行するのは違う仕事。実行を阻む障害は乗り越えるものではなく、さらっとかわし、中間目標をたどる手段を考えましょう。

ワークショップが始まりました。まず、「実行を阻む障害は何ですか？」の質問で障害を洗い出し、続いて「どういう状況にすればいいですか？」の質問で、中間目標を定めます。最後に、「その状況にたどり着く上手い手はないですか？」の質問で、中間目標をたどる手段を考えます。

障害は乗り越えるよりも回避する方が楽。中間目標をたどる手段を連動させると、解決策を実行するまでの工程表となります。

と岸良さんの解説。

参加者の知恵が集まった、「新型コロナウイルス問題を解消する解決策を実行するまでの工程表」が完成。ワークショップの議論と成果物がすばらしいことから、ワークショップの内容をゴールドラットチャンネルで配信することが決まり、セミナーが締めくくられました。

《今回の学び》

- 前回のセミナーでの学びと合わせて
- ・ 解決策の副作用は解消しなければならない
 - ・ 解決策の実行への障害は回避すればいい
- という、この2つの違いに気づけたこと、そして、副作用の解消策と障害の回避策を事前に知恵を絞っておけば、既成概念を覆すような解決策でも実行への一步を踏み込めると思いました。

《他の発表》

- ◆ 「えかおのわ」の取組
～みんなが笑顔なる小学校を目指して～
林さん、伊藤さん、伊原



講師・ファシリテーター 岸良裕司



株式会社Goldratt Japan CEO。
全体最適のマネジメントサイエンスであるTOC (Theory Of Constraint:制約理論) をあらゆる産業界、行政改革で実践。最先端のTOC知識体系の、「楽しく」、「わかりやすく」、「実践的」な講義と、参加者をワークに集中させるファシリテーションから、たくさんの学びが得られると大好評である。

全体最適の行政マネジメント研究会について

- ・ 全体最適のマネジメント理論TOC(制約理論)を活用し、「お金を使わず知恵を使って」を合言葉に、行政、民間の参加者が垣根を越えて、日本をよくするために知恵を出し合い、問題解決に取り組むNPO法人。そのセミナーは、身近な行政課題を題材に、TOCを実践的に学べる場となっている。
 - ・ 次回のセミナーは、2020年12月5日(土)にオンラインで開催予定(参加費無料)。先行予約受付中。
- <https://www.kokuchpro.com/event/20201205tocgyousei/>